

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 西川豊長
 幹事 中山信夫
 会報委員長 西尾正巳

No. 41

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第714回 平成9年6月3日(火)

講演 “2005年国際博覧会誘致について”

誘致委員会

小池一二三氏

(紹介 三好君)

先週の記録

第713回 平成9年5月27日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ お誕生日祝福

石田君 (5/27)、浅井君 (6/1)

◇ 出席報告

会員 67(66)名 出席 45名

出席率 68.18%

前々回 5月13日(修正出席率) 93.94%

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 今日5月27日は海軍記念日(昔の話) 明治38年5月27日東郷平八郎率いる大日本帝國海軍連合艦隊が対馬海峡で、当時世界最強を誇るロシア海軍のバルチック艦隊を迎撃、T字作戦という奇想天外な戦法で殆ど全滅に近い打撃を与え大勝利を収めた、世界戦史に残る記念日、日露戦争は日本の存在を世界にアピールした戦争でした。

加藤 大豊君 昨夜松原市長と一ぱいやりました。

三輪 康君 秋山さん地区協議会ありがとうございました。

水野 民也君 名古屋市体育協会一75才で定年退職しました。ありがとうございました。

6月、中画廊で杉戸清さんと展覧会東会を開きます。

成田 良治君 麻雀大会今月度優勝しました。

鈴木 理之君 末娘が青森で新婚のスタートを切りました。みなさまに感謝いたします。

和田 正敏君 次年度国際奉仕委員会の報告をします。ねむらないで聞いて下さい。

山本 眞輔君 麻雀大会本年度総合優勝いたしました。

吉田 玄君 父の葬儀にはお忙しい処御会葬いただきありがとうございました。

二村 聡君、林 哲央君、石黒 正則君、

釜谷 健一君、河村 政孝君、菊池 昭元君、

木全 昭二君、小林 明君、小杉 啓彰君、

松居 敬二君、松島 孝彰君、水野 賀禎君、

永井 正義君、中根 三郎君、鷺谷 龍男君、

笹野 義春君、鈴木 正男君、田部井良和君、

田中 昭二君、谷口 優君、舎人 経昭君、

渡辺 辰夫君、吉田 節美君 ごきげんよう

浅井 誠寿君 誕生日祝い。

◇ 中山幹事報告

1. 本日午後6時より河村屋にて理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は、ご出席下さい。

2. ロータリー適用相場先日6月1日より126円に変更のお知らせを致しましたが、119円に再変更となりましたのでお知らせ致します。

◇ 吉田(玄)君会葬御礼挨拶

去る5月19日の父の葬儀に際しまして、お忙しい中たくさんの方にご会葬賜り、本当に有難うございました。父は沖縄の那覇西RC、東大阪東RCに入会経験があり、RCに親しみを持っておりましたので父も皆様のご会葬に感謝してると思っています。

第2760地区 地区協議会報告

於：5月24日(土)ホテルナゴヤキャッスル

◎次期会長 松居 敬二君

地区協議会の犬飼栄輝ガバナーノミニーの「ガバナー方針」について簡単に報告します。

先ずRIグレンキンロス会長のテーマは

SHOW ROTARY CARES

ロータリーの心を

for your community(あなたの住むところに)、

for our world (私たちの世界に)、
for it's people (そこに住む全ての人々に)
であります。「CARES」というのは気配りや
思いやりによる心の表われ(行動)を意味し、
「SHOW」はよく分かるように行動で示せとい
うことです。その中心的課題として、世界から
「飢餓と貧困」「子供たちに読み書きと計算
能力の教育」に対して「ロータリーの心を」行
動をもって示そうであります。

次に犬飼ガバナーノミニーは

- ①新リーダーシッププランについて
当地区では分区代理の任務を強化し、実質
的にガバナー補佐の役割を果たすようにす
る。このため公式訪問は原則として2~3ク
ラブ合同例会の形をとります。
- ②上段に書きましたグレン・キンロスRI会長の
テーマにそって
- ③新世代の育成と環境保全
A. 昨年度からの「新世代会議」を引き継ぎ
又ロータリー財団のプロジェクト「研究
グループ交換GSE」をブラジルの第4430
地区と組み実施する。
B. 環境保全5月30日ゴミゼロの日から環境
基本法が定める6月5日の「環境の日」ま
での1週間を環境週間を設定する。

- ④クラブ拡大及び会員増強
本年度は1ないし2クラブ新設をめざします。
会員増強は各クラブ予算を作って、実質3%
以上を目標にしてください。とくに若い会員
の加入を促進してください。

- ⑤ワンクラブワンカラー
各クラブが「ワンクラブワンカラー」をテ
ーマにクラブ運営の面に奉仕活動に独自の重
点テーマ又は目標を1つ設定して実行して下
さい。

以上を主な柱として新方針の発表がありました。

- ◎次期クラブ奉仕委員長 大口 弘和君
クラブ奉仕と会員増強が第2分科会として開
催されました。当クラブからは、石田耕嗣次
年度会員増強委員長とクラブ奉仕の大口が参
加した。概要は以下の通りであります。

*犬飼栄輝ガバナーノミニーは次の2点を強調
された。

- 1. 継続性を持つ。前年度と引き継ぎを行な
った上で自分の年次計画を考える。
- 2. 組織の原理を持つ。各委員会とは「ほう
れんそう(報・連・相)」「報告・連絡・相談
のこと」を重視して、個人の原理から組織の
原理へと発想の転換をする。

【クラブ奉仕委員会】

出席：休眠会員やメーカーアップの必要な会員
には出席委員長から直接声を掛けてほしい。
職業分類：希望する職業分類があった場合、変
更することが出来ます。

卓話：スピーカーはロータリアン同志で行な
うのが原則であります。

新入会員：入会式は盛大に感動的に行なう(家
族の写真などを会報に掲載するなど)。

イニシエーションスピーチはなるべく早く
行なう。IMやクラブアッセンブリーなどに参
加してもらい、早い時点で意思の疎通を計る
様にするとよい。

1 Club 1Colour (女性会員を入会させる
というのも1 Colour)

【拡大委員会】1~2クラブの拡大を目指す。候
補地区としては現在ロータリークラブの少な
い(無い)市として春日井市・大府市・豊明市
など。

【会員増強委員会】若い会員(40才台)や女性
会員の入会に努め、純増3%を目指すとともに
退会者を防止するようにする。

【広報委員会】会員に対しては、ロータリーの
友やガバナーズレターを通して行なう。会員
外に対しては、地域や報道機関との関係を模
索する。また有効な方法があったら教えてほ
しいとのことでした。

【ロータリーの友委員会】14万部発行は世界最
大の雑誌であります。大いに読んでください。
例会において月に1回友の内容を紹介してくだ
さい。

積極的に投稿してください(健康一口メモ・
好きな言葉は50字以内、談話室は600字以内、
卓話の泉など)。英文のロータリーの友もよろ
しくお願い致します。

- ◎次期国際奉仕委員長 和田 正敏君

「ロータリーの心を あなたの住むところ
私たちの世界 そこに住むすべての人々に」の
テーマにオーストラリアのグレンWキンロス
氏が会長となります。

国際奉仕については、毎年、委員長になる
方の話を聞いていますが、いざ自分がなっ
てみると、これは大変だと思いました。

- (1) 青少年交換委員会：高校生という若い人々
に外国の生活を体験して、国際的視野を見
つけていただくための育成。当クラブから
は大谷氏が大変努力をされています。今回
は96~97の学生を受け入れます。96年度よ
り、従来は英語圏の人々のみでありました
が、ブラジルより一人とフィンランドより
一人受け入れます。

- (2) 世界社会奉仕(WCS委員会)：キンロス会
長は、飢餓・貧困との闘いを開始しまし
ょう、これはこの世におけるさまざまな悪の
根源です。然し、食糧と住居を提供するだ
けで、貧困から脱却させることはできませ
ん。自ら努力して、その生活状態を向上さ
せていく手段が必要なのです。私たちは、文
字と数字の世界に生きています。文字が読
めない、書けない、計算ができない人々は、
貧困から脱け出し人間らしく暮らすことな
ど決してできないでしょう。WCS委員会が
もっとも中心として活動せねばならない1

つの委員会だと思えます。

各クラブの独自性のあるWCS活動が必要である。

(3) 国際友好委員会(?) : いま一つははっきりしていない委員会です。今後、世界と日本のアクセスがよりさかんになることで活発に活動できるでしょう。

◎新入会員 田中 昭二君

雨天にもかかわらず1600名の出席者に驚きの中、地区協議会が開催され、私は出席義務者として出席させて頂きました。

次期ガバナー犬飼栄輝氏のガバナー方針として多々抱負を語られました。中でも“ワンクラブ・ワンカラー”の実践を力説されました。要は基本を遵守し各クラブのプラスワンの行動、実践によるボトムアップを期待する事で人事の一新が継承と改革には欠かせない事と思いました。

その後、9分科会に分かれ私は新会員、一般会員部会に出席致しました。地区研修リーダー加納泉氏のロータリーの目的、ロータリーの未来についてお話があり、引き続き各分科会のアシスタントリーダー7名による講義を受講致しました。時間の都合もありますが、正に私にとってはロータリーとはを広く浅く知るセミナーでしたが、その中で、職業を通じどのように奉仕をしていますか、全ての出来事を家族に話をしていますか?と問われました。私も奉仕の第一歩は身近な人々との語らいかから始まるものと思っております。これからも、より多くの例会、その他行事に出席し更に他クラブへビジター訪問をし、肌で感じ、考え、楽しく行動することが大切であることを学びました。

最後に各リーダーが各テーマに沿いご説明を頂きましたが、何故か最後には2334番目の決議事項を引用されました。機会がありましたら是非この基本2334につきまして例会時にもご先輩の卓話を頂きたいと思います。

◇5月度理事会議題

1. 新入会員候補者の件
2. 退会届けの件
3. 財団奨学生の件
4. 職業奉仕事例集の件

~~~~~第124回 ゴルフ会成績~~~~~ (名古屋ゴルフ倶楽部 5/22(木))

RANK	NAME	Out	In	G	Hcp	Net
優勝	西尾正巳	45	47	92	21	71
2位	秋山茂則	52	44	96	20	76
3位	菅原宣彦	47	48	95	18	77
B B	永井正義	54	45	99	7	92

(参加者 18名)

~~~~~ガバナースレターより~~~~~

RYLAとは

RYLAのいわれは、1959年オーストラリア・クィーンランド州の自治権獲得百周年記念祝賀会にイングランドのアレクサンドラ王女が臨席されたので、王女と同世代の青年たちを招き王女と会う機会を作ろうという計画がもちあがり、オーストラリア中から集まった青年リーダーたちのホストをブリズベン・ロータリークラブがつとめました。

青少年の資質を発見したロータリアン達は、この催しを毎年行い、1971年ロータリーの国際組織であるR.I.にとり上げられ、RYLA (Rotary Youth Leader - ship Awards)「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として位置付けられ、世界的なプログラムに発展し、1973年にはアメリカで、1974年にはフランスで、さらに1976年には日本でも始められました。

RYLAは、若い人々とロータリークラブ会員が共に時間を過ごし、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深めることに特色があります。

RYLAは、若い人々とロータリアンを参加させる地区プロジェクトであり、若い人の指導力と善良な市民精神という資質を伸ばすことを目的としております。

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋東南RC 6/12(木)I.D.M.の為、木曾路にて18時より
あまRC 6/16(月)津島合同例会の為、6/11(水)名鉄ニューグランドホテルにて18時より
名古屋名東RC 6/17(火)創立記念夜間例会の為、6/20(金)
名古屋名南RC 6/17(火)I.D.M.の為、6/18(水)か茂免にて

◇次回例会 (6月10日)

講演“五重の塔について”
魚津社寺工務店 工事部長

水口 春夫氏

1997～'98年度のための

会長エレクト研修セミナー開催

次期地区幹事 片山 主 水

4月にしては長雨が続き久しぶりに晴れて絶好のゴルフ日和かと思われた平成9年4月8日火曜日は、釈迦誕生の花祭り…。

この日の10時半、名鉄グランドホテルで、会長エレクト研修セミナー（PETS）が開かれた。



RIの方針により来年度から採用を推奨されている「新リーダーシッププラン」の関係から、犬飼ガバナーノミニーの強い希望により各クラブの会長エレクトとともに次年度幹事も招集され、151人が参集した。

まず松本ガバナーからPETSの目的を含めて会長エレクトに対する激励と挨拶のあった後、犬飼ガバナーノミニーより、夫人とともに出席されたアナハイムでの国際協議会（3月7日から14日まで）の模様の報告と、グレン・キンロス（豪州）次年度RI会長のRIテーマ「ロータリーの心を」(Show Rotary Cares)の発表とその趣旨、このテーマを適用すべき中心的課題「飢餓と貧困の克服」、今年度のテーマ「築け未来を行動力と先見の眼で」との関連などについて詳細な説明があり、次年度へのガバナー方針が示された。

「新リーダーシッププラン」については地区諮問委員会にも諮ったうえで当地区に最もふさわしい形で取り入れることになったこと、ガバナーと分区代理がより密接に連携しながら、分区代理の任務を拡大強化し、ガバナーは地区内のロータリー活動全般にわたってその活

性化をはかり地区内のいろいろなニーズに対応するよう努めること、そのため公式訪問は2～3クラブの合同例会方式をとり、この例会前に各クラブ会長幹事協議会を開催、そのクラブの重点課題等について担当委員長の出席も得て協議・懇談し、クラブ協議会は公式訪問前2週間～1ヶ月前の分区代理訪問の際開催することなどの方針が情熱のもとに語られた。

「新世代の育成」については、これまでの青少年交換・米山奨学生・財団奨学生、本年度からの「新世代会議」などの青少年育成活動のプログラムを継続し、また新たに次年度ロータリー財団プログラム「研究グループ交換GSE」をブラジル・サンパウロ4430地区と実施する方針が示され、「環境保全」については当地区から発祥した「ごみゼロ」の5月30日から環境の日の6月5日までの1週間を、これまで通り地区の「環境週間」とし、各クラブにおいてこの週間に相応しい特別の活動をと語られた。

クラブ拡大・会員増強の話の後、最後に「ワンクラブ・ワンカラー」の言葉を掲げられ、各クラブにおいて新年度に向けて奉仕活動・クラブ運営の面に独自の目標などを設定し、またその議論の中から何がしかの活力を引き出していただきたいと結ばれた。

昼食は会場で「松花堂弁当」名鉄グランドホテルの特製。この後は友愛の広場での名刺と友情の交換。

友愛の広場の片隅には、これから準備するクラブ計画書作成の参考のためにと、本年度の各クラブの代表的なクラブ計画書が展示された。

午後加納泉次年度研修リーダーから、クラブの運営について「あなたの1年です。」と「鼓吹」せられ、各会長エレクト・幹事は、不安を一掃し、次年度への自信と意気込みを互いに確かめ合いながら、2時30分散会した。